

夕刊 警城時報

行發日六廿
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金五錢 一月金五十五錢
廣告料一行十四字日五錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

靖國神社に合祀される 一二將校の英靈

安孫子中尉と新妻少尉

▲石城郡好間村古河炭礦出身故安孫子幸一工兵中尉は新たに靖國の御社に祀られるが、光榮に浴する遺族古河炭礦庶務課長安孫子虎雄(五一)氏家庭には虎雄氏夫人キツ(四三)さん妻女子(二五)さんその長男一雄君(四ツ)ノゾノさんの妹向子(八ツ)さんがある。幸一中尉は十二年十月岩淵部隊に属し上海に上陸〇〇に於て歩兵〇隊が三方から敵に包圍され苦戦に陥つたため救援に赴き交通線を断つたため救援に前進せしむるため指揮中腹部下及び太腹部下に貫通銃創をうけ戦死したものである。同君は秋田礦山出身、遺族は二十六日全家をあげて靖國神社に参拜した。家族は語る「護國の神として合祀される政府は石炭増産対策の一方法として炭礦労働者の増員を企圖して炭礦各山元へ於ても半島同胞の布陣を準備して居る常務方面に招致その他極力其の困難に順應如何なる意用事項がなされて居るの増加と共に現在入坑中の労働者は時節大なるものあるべしを認らるる」

石城郡農會豫算 明年度三万一千圓

副會長は金成好間村長

石城郡農會總會は二十六日午前。なほ副會長佐藤庄太郎氏辭任による後任は好間村長金成茂治氏に決定した。十四年度に比べ九千餘圓増、之は農會補助の増進に於ける擴大稼働率及び一追加によるもので之は臨時農村對策として稻栽培施設に充當す

石炭増産計劃

石城郡農會總會は二十六日午前。なほ副會長佐藤庄太郎氏辭任による後任は好間村長金成茂治氏に決定した。十四年度に比べ九千餘圓増、之は農會補助の増進に於ける擴大稼働率及び一追加によるもので之は臨時農村對策として稻栽培施設に充當す

平市會召集 十萬圓起債其他協議

平市會は二十八日午前十時開き事業年度繰越、十四年度追加更正、平工業學校寄附金十萬圓の起債、十五年度豫算更正、土地買収、土地交換、工業學校敷地寄附等協議等を附議し更に協議會を開いて平市村合併に關し協議する

義務教育費 石城の割當

義務教育費國庫負擔交付額はこの程發表されたが、郡市關係割當額は左の通り

平市	三、〇六八圓
泉	一、六三三圓
植田	四、六六四圓
錦	三、四二四圓

中野齒科

平市田町(電五〇九)
院長 中野 惠次

一、口腔外科
一、レントゲン科

一、稼働率低下は労働資料の不足による場合が多いので地下足袋等労働資料の供給を豊富にし稼働率低下を防止する
一、住宅その他労働条件を改善し労働者の移動等を減少せしめる

一、労働者に対する全般的労働政策に再検討を加へ現行に即した政策を急速に実行する
一、就労に早急に具体策を樹立しする等既に夫々刻下の生産増進に努めて居る常務方面に立の件(工費三百餘圓)

上遠野 一、一一二圓
川部 六、四六四圓
飯野 二、八四四圓
夏井 四、七四圓
豊間 一、一九七圓
鹿島 一、六四四圓
湯川 一、六七四圓
好間 四、九一五圓
永戸 二、八〇二圓
澤渡 一、三一九圓
神谷 七、〇五圓
大浦 五、七五圓
大野 六、六八四圓
川前 一、〇六四圓
渡邊 七、一五圓
山田 三、七八圓
勿來 二、五〇圓
入野 二、一七〇圓
一、二七九圓

自轉車乗逃げ

當時住所不定無職林藤吉(三三)は去る十五日茨城縣大津町で二田勘兵衛所有の自轉車(百廿四)を乗逃げして二十四日平市に來た處を平警に檢査された

弟殺し公判

既報、飯野村上荒川農小黒大(五三)に係る殺人事件公判は廿八日平支部管轄裁判長係で開廷される、事件は弟清一郎の悪癖を矯めんと松葉杖で毆殺したものとある

平校の優等生

(その二) 平 第二一校 (3)

△第一一 高橋絹子、猪根球子、薄葉京子、大和田規子、藪谷智子、東條伸子、阿部ユキ子、萩原洋子、菊地尚子、長澤衣子、石橋洋子、田巻睦子
△第一二 松井萬里子、柳澤向子、大内博子、猪狩久子、横山トシ子、泉田智子、齋藤明子、北原記恵子、草野孝子、阿部孝子、吉原美代子、菊地ツヤ子
△第一三 松崎幸子、宮島富子、阿部友子、松石ウネ、村野和子、大和田敬子、大田弘子、津山美智子、赤木裕子、武田登和子、齋藤弘子、竹原ツヤ子
△第一四 清野鶴子、鈴木俊子、山田久子、小野榮子、中野千紗子、狩谷直子、高瀬トキ子、草野東、鈴木玲子、大金壽子、大越好子、高羽玲子
△第一五 佐竹水子、粕原サト子、吉成芳子、大井川澄江子、山崎吉子、國府田マサ子、高野美子、伊藤芳子、齋藤就子、赤塚裕子、田巻町子、横山英子
△第一六 橋本イク、櫻村かをり、小野光子、大橋潤子、横澤和子、平井玲子、松崎理智子、鈴木清子、庄司静子、小松隆子、佐藤鶴子
△第一七 山崎美智子、矢野利枝、佐久間マサ、戸松テル子、穴井美子、丸山愛子、松本キクエ、木田トキ子、山田藤子、藤川千枝、大井川美代子、藤居澄貴子、吉田千枝子
△第一八 増田アヤ子、橋本チイ子、安齋照子、宮川幸子、服部桂子、益弘幸子、齋藤良子、大村仁美、齋藤英子、藤田朝子、關原トシ子、力丸美智子、松田玲子
△第一九 谷口壽子、小齋春子、神長倉公子、松本節子、金子シメ、古市佳子、石川美子、菅間みさ、下山田方子、田巻まさ子、高木珠世、長谷川友子、高橋泰子

自動車屋悲鳴

炭礦と油を控へ縣下において自動車運轉の最も繁雜を極めて居る平地方は最近ガソリンの配給不足が甚だしく、ガソリンを植付る

海南島を訪ねて

臺灣以上の大寶庫

(六) 生

米國は本島に領事館を置かざるも、約四十年前より宗教政策に依る勢力扶助に努力し列國中島民の信頼は第一位であつた。

佛國は佛領印度支那防衛上本島に最も深い關係を有し、西曆一八九七年には清國を以て不割讓宣言をなしたため、同一八九八年には本島南端の〇林港に軍港設置の計劃を以て其の租借を申出たる事もあつた。海口には領事館の外教會

不圓滑から一週間に上り直つて營業中止してゐる者續出するに至り業者側では全く悲鳴をあげ日下對策を講じてゐるが、本縣ではガソリン券が相當ダブつてゐるに反しそのガソリンが一滴もなくお隣の茨城縣には可成り豊富に配給されてゐる模様で業者の中には盛んに茨城と物々交換によつてガソリンを引取つてゐるものもあるので一部業者間には甚しい不平を並べてゐるものもある

日本は事變前には官民共に一向進出せず、只藥種集島熱刺製糖廠開業作氏が四十年前間孤軍奮闘せるのみであつたが今や皇軍は海陸互に協力して全島の海岸要所を全部占領し臺灣總督府派遣の博愛醫院や我々が海陸兩軍の仁恵に占領地住民の多數は感謝生活を遂つてゐる。二、三十年後には臺灣以上に我が寶庫として南方發展の基地となるであらう

本島の一線に晝夜健闘せる皇軍將士諸君は元氣洵に旺盛で何なる事があつても本島だけは斷じて手離す事は出来ないと意氣どめるは當然である

診療

腸胃科 胃腸病科
内科 花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科

門專

院醫科腸胃村松
 (番七〇一電) 町南市平

療

開院

性肛整内外
 門形臟科
 病外外一
 レントゲン科 科科科科科般

平市南町(平郵便局本局通り)

上田外科醫院
 院長 上田耕作
 電話 一二九番

氷賣場開設

今般御得意様の御便宜を計り三月二十七日より工場内氷賣場を廢し大町一若松醫院前に氷賣場を設置、水野隆介を賣場主任に採用仕り候間御引立願上候
 追而凍魚・鹽干物は從來通り本社(電三二八)にて取扱ひ可申候

平製氷株式會社

氷の御用命は
電話二九九番
 平製氷 直營 氷賣場
 平市 大町

これは便利!

***手を荒さず
 ***絹毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
 ★つけておくだけで洗へる

美 マルミ粉末石鹼

製造元 平市材木町一一

募集

永續者には將來の保證を致します

ボーンさん	◆堅實な營業方針のサロンのお客様は當地一流の方々です ◆色々な方に接することが社交儀禮の實に學び 成功の糸口ともなります
調理見習婦人	◆定評あるサロンの調理法を御專授いたします ◆見習ひとして調理場に御勤務出来る御婦人に限る

◆14歳以上30歳迄の健康な方
 ◆3年以上勤続出来る方
 ◆親権者若くは本人御來談下さい

平市銀座街
サロン
 電話592

鏡後の作家計費引下に
 一日のサリスデーを
 特利用下さい

平マケド

開業

平市南町十二

小兒科 酒井醫院

入院隨意 醫學博士 酒井保
 電話五五番

産科・婦人科

平市田町
井坂醫院
 電話五五九番

◎入院隨時

小兒科

平市南町
志賀醫院
 (入院ノ需ニ應ズ)
 電話一六二番

ピマリーチ

三宅監製 博士發明(食品用油)

五十餘人
 一、一〇特
 百餘人
 二、〇〇約
 徳川備 店 目 局
 五〇〇 市 野 山

耳鼻咽喉科

醫學博士 增田之

平市紺屋町(電六五一)

開業

内臓外科 整形外科

平市大町二番地
内木外科醫院
 醫學博士 内木宗八
 電話二九六番

入院隨時

移轉廣告

今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
 昭和十四年四月

平市南町十四番地(警察署通り角)
 (舊診療所 平市六丁目)
木村外科醫院
 木村淳
 電話三〇九番

◎入院應需

外科一般 内臓外科 性病科 肛門病科

北川外科

醫學博士 北川芳夫
 平市新川町(電四六四)

内臓外科
 レントゲン科
 晝夜診療
 入院隨時

おでん 始めました

出前迅速

十一屋食堂

平局前 電話三七三番

酒

味 佳